

茶華道部

R3年度の部員数

(1年 6人 2年 3人 3年 3人)

主な活動内容

毎週、火・金曜日の週2回、講師の先生（表千家）にお点前を習っております。年間を通して、割稽古に始まり、客作法、薄茶点前、濃茶点前、略点前を教えていただき季節ごとにその季節感を味わいながらお稽古を重ね、その作法を学びます。

学校行事の最も大きなイベントは、城陵祭の『お茶会』です。お茶会を控えた夏休みに、全員（1、2年生）が浴衣の着付けを習得し、当日は、その浴衣姿でお点前お菓子運びを順番に担当して、毎年150名程のお客様にお抹茶を振る舞い大変好評でした。しかし、昨年からのコロナ禍で中止を余儀なくされました。

また、部活動として点前に始まる日々の稽古を積み重ね『茶の湯は茶事にあり』と言われるように茶事を経験します。講師の先生に引率して頂き、春の『恵那市市民茶会』や、秋の『表千家同門会チャリティー茶会』に参加して、貴重な体験をしておりましたが、コロナ禍ですべて中止になりました。

そんな中、講師の先生のご厚意で、ご自宅の茶室にて『初釜茶会』を計画して下り、感染予防を徹底して3密厳守で、伝統的な『お茶会』を経験出来た事は、かけがえのない思い出になりました。

更に、7月の七夕茶会のお稽古で、部員が願い事を吊るした笹を生徒玄関に飾った所、予想外に全校生徒の目に留まり、それぞれが願い事を書き、天の川に託しました。その数、何と281通。コロナ禍で、窮屈な思いをしている恵那高生の切実な願いが届いて欲しい思いでした。

日本の伝統文化である茶の湯を通して、日本人の和の心を大切に、一つ一つ楽しみながら学んで行きたいと思います。

